

山本橋次郎

諱

山本信敏

やまもと・きつじろう

やまもと・のぶとし

福山藩士、蝦夷地探査

経歴

生:天保5年(1834年)ごろ、江戸生まれ

没:安政4年(1857年)8月9日、享年25歳、函館・称名寺(しょうみょうじ)に葬る

—	—	山本信利の養子となる
—	—	山本の長女と結婚する
安政3年(1856年)5月	23歳	蝦夷地探査(第1次)に出発
安政4年(1857年)3月	24歳	蝦夷地探査(第2次)に出発

生い立ちと学業、業績

山本橋次郎、本姓は森戸氏、幼名は武政。のち山本信利に養われて、その長女を妻とした。代々が江戸詰めの福山藩士。

安政のころ、蝦夷地は風雲急を告げ、幕府をはじめ奥州の諸藩は、警備のため蝦夷地に兵を出した。福山藩もそうした流れの中で、寺地強平、関藤藤陰(石川和助)、吉沢忠恕らとエトロフや樺太の探査及び警邏の任にあたった。

安政4年(1857年)8月9日、山越内(やまきしない)において水腫病に罹り客死した。同行の関藤藤陰が撰文、吉沢忠恕が揮毫、父の山本信利が函館・称名寺に建墓した。

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
00049	関藤藤陰 画文	卷子「蝦夷探査図絵」	—	安政4年(1857年)
09901	—	「山本橋次郎(山本信敏)」	—	平成21年

資料提供:見延典子氏

出典1:『関藤藤陰 伝記と遺稿』、184・187 頁、志水主計著、関藤藤陰遺徳顕彰会刊、昭和52年5月

2009年12月17日追加●2009年12月18日更新:経歴・誠之館所蔵品●2016年7月9日更新:誠之館所蔵品●